

第27回 医療安全管理者ネットワーク会議 in 滋賀

内服薬と薬時の患者取り違え防止

患者安全を担保した内服薬と薬手順の作成・導入と実践
～ 現場で行うべき医療安全行動の業務手順 ～

医療提供に当たって、人や物を取り違えないのが基本です。本ネットワーク会議では、患者誤認防止のための手順書作成に取り組み、これまでの経過と作成した手順書について、平成29年の第12回医療の質・安全学会教育セミナーで報告しました。

平成30年度は、なかなか減少がみられない“内服薬と薬時の患者誤認を撲滅するための手順書”を作成することとしました。第26回のネットワーク会議では、その第1回目として、現場で使っている手順書や与薬カート・与薬ボックス等の写真を持参いただき、現状の問題を検討しました。第27回でも、引き続き、与薬時の患者誤認防止について具体的な検討を行いたいと思います。

医療安全管理に関わる医師、薬剤師、看護師等多くの職種の方にご参加いただき、現場に即した手順書の作成に向けて検討ができることを期待しています。



ネットワーク委員会担当理事
嶋森 好子
(岩手医科大学看護学)

日時：平成30年5月27日(日) 11:00～17:00

会場：医療研修施設「ニプロ iMEP (アイメップ)」 多目的室

〒525-0055 滋賀県草津市野路町 3023 番地

対象：医療安全管理者、医療安全管理を担う者

医師、看護師、薬剤師、多職種の皆様のご参加をお待ちしています

★ 自施設の内服薬の与薬手順書、配薬カートや配薬ボックスの画像などをご持参ください

グループワークでの検討時にご提示いただいで具体的な検討を行うため、お願い致します

定員：80名（定員になり次第締め切り）

参加登録：医療安全管理者ネットワーク ホームページにて受付

<http://qsh.jp/医療安全管理者ネットワーク/>

参加費：医療の質・安全学会会員(5,000円) 非会員(8,000円) 参加費事前振込制

振込先等：三菱UFJ銀行 本郷支店(店番 351) 普通 0212775

一般社団法人医療の質・安全学会 シヤ)イリヨウノシツアンゼンガツカイケンシユウカイ

※ 一度納入された参加費は理由の如何を問わず返却致しません。

※ 参加登録完了メールにある受付番号を振込人の氏名の前にお付けください。

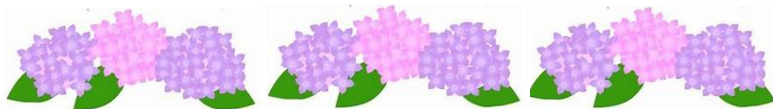
(受付番号)+(氏名)

備考：参加登録完了メールを印刷してお持ちください。

参加受付用紙(受付番号記載あり)となります。



プログラム



●開会挨拶・趣旨説明

医療の質・安全学会 ネットワーク委員会担当理事
岩手医科大学 嶋森 好子

●内服薬と薬時の患者取り違え防止について

北里大学病院 荒井 有美
名古屋大学医学部附属病院 寺井 美峰子

＜グループワークと発表・意見交換＞

- 第26回ネットワーク会議における検討の報告
- 内服薬と薬におけるもの・用語の定義
- 内服薬の配薬ボックスや注入器などへの患者情報の表示
- 内服薬と薬時の患者取り違え防止対策と手順



●まとめ・閉会 受講証明書を発行いたします

★ 昼食・休憩（ランチ無料提供あります）

◆会場アクセス



医療研修施設 ニプロiMEP
NIPRO institute of MEdical Practice

〒525-0055 滋賀県草津市野路町 3023 番地

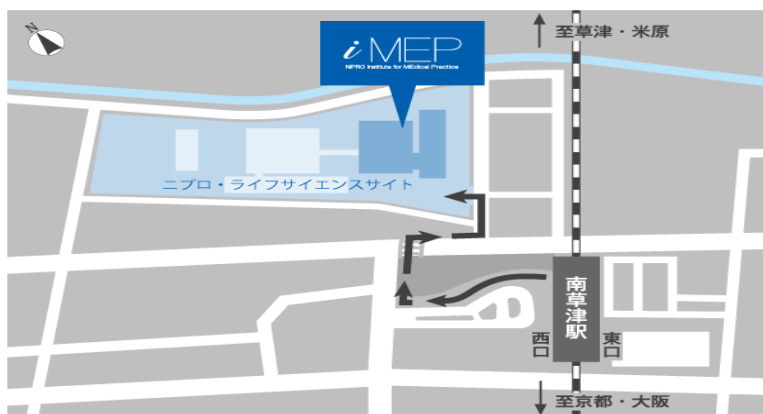
TEL : 077-564-0610

研修を通して、医療に貢献。

医療技術の進歩や医療機器の高度化に伴い、医療安全の充実と医療職の方々の課題解決能力・スキルの向上がますます重視されています。当社はこの現状に対処すべく、医療職者向けの専門的研修施設

「ニプロ iMEP」を開設しました。

※ iMEP : institute for MEdical Practice



◆問合せ・緊急連絡先

一般社団法人医療の質・安全学会 事務局 E-Mail secretary@qsh.jp TEL 03-5803-7828

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-29-1 渡辺ビル 201 号室

【ネットワーク会議当日の緊急連絡先は「090-9814-2176」※当日以外を通じませんことご了承ください。】